

開館25周年記念展

京都 細見美術館の名品
—琳派、若冲、ときめきの日本美術—

2023年3月22日(水)から
大阪高島屋、日本橋高島屋、JR名古屋高島屋、
2024年に静岡、長野で開催

日本美術のコレクションで国内外から高い評価を受けている京都・細見美術館。その開館25周年を記念して、選りすぐりの作品 約100件を一堂に紹介する展覧会「京都 細見美術館の名品 —琳派、若冲、ときめきの日本美術—」を、2023年春から大阪、東京、名古屋、続いて翌年に静岡、長野で開催いたします。

昭和の実業家 細見良(初代古香庵、1901～79)に始まる細見家三代が、60年余りを費やして蒐集した名品の数々。代々の細見家の驚くべき先見性と真の鑑識眼には、日本の美への強い憧れと情熱が貫かれています。

それらは日本美術史を総覧する幅広い年代とジャンルにわたります。縄文・弥生時代にはじまり、平安・鎌倉時代の仏教・神道美術、室町時代の水墨画や茶の湯釜、桃山から江戸にかけての茶陶や七宝、さらに江戸時代の諸流派の絵画に至る多彩なものです。

本展覧会は、そのなかから人気の高い江戸絵画をはじめ、各時代や分野を象徴する優品を集めた贅沢な内容となっています。

仏画や荘厳具にみる祈りの美、古香庵好みの茶の湯の美術、華麗な蒔絵や七宝と風俗画、日本美の象徴・琳派、そして奇想の画家・伊藤若冲、の5章で珠玉のコレクションを紹介し、細見美術館ならではの美の世界を堪能していただきます。

一貫した美意識によって蒐集され、コレクターを愉しませた作品の数々が、皆さまを心地よい満ち足りた“ときめき”へと導くでしょう。

細見美術館



大阪の実業家・細見良（初代古香庵）に始まる細見家三代の蒐集をもとに、1998年に京都・岡崎に開館。

日本の美術工芸のほとんどすべての分野・時代を網羅する収蔵品の中でも、平安・鎌倉期の仏教美術や室町期の水墨画、茶の湯釜、根来、桃山期の屏風や茶陶、七宝工芸、そして琳派や伊藤若冲、葛飾北斎など江戸期の絵画に優品が多く、いずれも内外屈指のコレクションとして知られている。美術館ではこれらを中心に様々な企画展を開催、セミナーやレクチャーなどにより日本美術・文化の普及に努めている。

館内には、ショップやカフェを併設。茶室「古香庵」では、茶の湯体験や、コレクションを用いた四季折々の茶事・茶会も行われている。

<https://www.emuseum.or.jp/>

【会期会場】	大阪高島屋	2023年3月22日（水）～4月10日（月）〈予定〉
	日本橋高島屋	2023年4月26日（水）～5月15日（月）〈予定〉
	JR名古屋高島屋	2023年12月23日（土）～2024年1月7日（日）〈予定〉
	静岡市美術館	2024年4月13日（土）～5月26日（日）
		ほか 長野へ 2024年 秋 巡回

【展覧会構成】 祈りのかたち
数寄の心
華やぎのとき
琳派への憧れ
若冲のちから

【公式ホームページ】

<https://www.mbs.jp/hosomi25-tokimeki/>

【企画制作】 毎日放送

◆リリースに関する問い合わせ先：

◆画像申込はこちらから ⇒

毎日放送事業局内

MBS展覧会事務局 担当：坂上

E-MAIL：event-art@mbs.co.jp



電話：06-6375-7561（平日11時～17時）

<https://forms.gle/iKUNvFJMnymEhmi77>

FAX：06-6359-3561

祈りのかたち

○は重要美術品

「神や仏に捧げられた造形にこそ真の尊さがある」とする初代古香庵の信念が細見コレクションの原点です。切なる願いが込められた仏画、美麗を尽くした荘厳具などにみる日本美術の優美さ、繊細な感性、力強さに触れていただきます。



[1]



[2]



[3]

[1] 誕生釈迦仏立像 飛鳥時代

[2] (上から)○金銅三昧耶五鈷杵 鎌倉時代、○金銅五鈷杵 平安後期、○金銅金剛盤 室町時代

[3] 絵因果経断簡 鎌倉時代

数寄の心

茶の湯を通じて日本美術の普及を願った初代古香庵は、自らの美意識に従い蒐集した美術品を自在に取り合わせ、茶席で用いました。特に室町時代を主とする茶の湯釜、根来は研究にも熱を入れ、他に類をみないコレクションです。



[4]



[5]



[6]



[7]

[4] 志野茶碗 銘「弁慶」 桃山時代

[5] ○芦屋十一面観音香炉釜 天文3年(1534) 銘

[6] 根来亀甲文瓶子 室町時代

[7] ○单庵智伝 煙寺晚鐘図 室町時代

華やぎのとき

日本美術の特徴といわれる「かざりの美」。近世に至ると身近な空間を彩る調度や什器、人々の衣裳に美しい意匠や精巧な技術が凝らされ、豊かな「かざり」が展開しました。ここでは蒔絵作品、貴重な七宝コレクションのほか、北斎の肉筆浮世絵を含む風俗画もお楽しみいただけます。



[8]



[9]



[10]



[11]



- [8] 七宝夕顔文釘隠 桃山時代
- [9] 藤蒔絵堤重 江戸後期
- [10] 葛飾北斎 五美人図 江戸後期
- [11] 花車図屏風 江戸後期

琳派への憧れ

江戸初期の京都で誕生した美の潮流、琳派。二代古香庵によるコレクションには、本阿弥光悦（1558～1637）、俵屋宗達（生没年不詳）から近代の神坂雪佳（1866～1942）まで20人を超える作家が含まれます。それらの中から代表的な作品を選びすぎり、紹介します。



[12]



[13]



[14]



[15]

- [12] 本阿弥光悦 書 / 俵屋宗達 下絵 月梅下絵和歌書扇面 江戸前期
[13] 尾形光琳 柳図香包 江戸中期
[14] 酒井抱一 桜に小禽図 江戸後期
[15] 鈴木其一 水辺家鴨図屏風 江戸後期

若沖のちから

京都・錦小路の青物問屋に生まれた伊藤若沖（1716～1800）。狩野派や中国古画などを独学で修めた後、自らの表現を追求し、独創的な絵画を生み出しました。初期の著色画から晩年の水墨画まで、充実のコレクションを通じて若沖の表現力を体感できます。



[16]



[17]



[18]



[19]

- [16] 伊藤若沖 雪中雄鶏図 江戸中期
 [17] 伊藤若沖 糸瓜群虫図 江戸中期
 [18] 伊藤若沖 仔犬に箒図 江戸中期
 [19] 伊藤若沖 鶏図押絵貼屏風(左隻) 寛政9年(1797)